

特集 第21回 **SRお客様交流会**

2015年9月18日(金) 大田区産業プラザPiO

## 長時間労働の抑制を目指す 官民一体の協議会が全国に発足

### 割増賃金率50%が中小企業にも!? 4年後適用のための実態調査を開始

厚生労働省(以下、厚労省)が、「労働基準法等の一部を改正する法律案」により、すでに大手企業で導入済の「月60時間超の時間外労働に対する割増賃金率(25%→50%)の引き上げ」について、中小企業への適用猶予を見直すことに対して、公益社団法人全日本トラック協会は、厚労省に「①執行までの5年の猶予期間」「②官民上げた協議会を全国47都道府県に設置」という2つの条件を提示し、①を「法律制定後、猶予期間3年で実施」ということで合意になりました。

早速、この夏に協議会を立ち上げ、「関係行政機関や業界団体等との連携の下、長時間労働の抑制に向けた環境整備の必要性」「トラック運送事業者の総労働時間が長いのは、荷主都合による手待ち時間などがあり、トラック運送事業者のみの努力で改善することは困難」「学識経験者、地域を代表し発言力を持つ荷主企業、事業所、行政(国土交通省:以下国交省と厚労省、労働基準監督署)などで構成する協議会を中央および各都道府県に設置しロードマップを作成」などの結論を得ました。

実態把握のため厚労省と国交省は共同で本年9月の1週間(9月14日~同20日)、トラック輸送における長時間労働の実態調査を実施。

この調査は、地方トラック協会(47協会)の会員事業者で各都道府県20社以上の事業者から100ドライバー分を、東京・愛知・大阪・北海道は30社以上の事業者から150ドライバー分を対象とし、始業時間、始業点呼、日常点検、乗務前点呼から、発・着荷主での手待ち、発・着荷主での荷役、運転時間、終業後の作業、終業時間等7項目の実態調査を実施しました。この調査票は通常の運転日報より詳細かつ多岐にわたるものです。これら調査は、トラック事業者が荷主の要望に応じている実情を明らかにしなければ、ドライバーの総労働時間が減らないという理由から行っています。同調査は本年末まで調査票の集計・分析を行い、来年1月の中央協議会、2、3月の都道府県協議会にて結果を報告します(右上ロードマップ参照)。

### ドライバー労働環境改善に必要な 荷主・事業者間での相互理解と協力

厚労省は平成24年度から26年度の3年間にわたり、荷主と運送事業者の各企業の協力による「トラック運転者労働条件改善事業」を行っています。「荷主企業」「元請運送事業者」「実運送事業者」を含めた協議会を作り、その間にアドバイザーが入り、どうしたら労働時間問題が改善できるかを個別に検討し、具体的な施策や改善結果に結びつけています。これらは、今回の協議会のパイロットケースとして、全国47都



▲公益社団法人 全日本トラック協会の福本秀爾 理事長。長時間労働を抑制し、ドライバーが健康を確保しながら、効率的に働ける環境作り、今回の協議会が重要な役目を担うという

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 中央・各都道府県において協議会の設置・検討 (厚生労働省・国土交通省、荷主、事業者等による協議会)	協議会の設置			
2 長時間労働の実態調査、対策の検討	調査の実施・検証			
3 パイロット事業(実証実験)の実施、対策の具体化		パイロット事業(実証実験)の実施 労働時間縮減のための助成事業		
4 長時間労働改善ガイドラインの策定・普及			ガイドラインの策定・普及	
5 長時間労働改善の普及・定着				普及・定着の促進 助成事業の実施

定期的なフォローアップ・更なる対策の検討

▲トラック輸送における長時間労働の抑制に向けたロードマップ



荷主

- ・長時間労働の問題は、社会全体の問題。社会慣習から無理な時間帯に商品を届けることを要望され、負担となっている。
- ・繁忙期に荷物を運べないときがある。荷主側でももっと効率的な出荷方法を考えるべきだ。
- ・荷受けサイドで、運送事業者が荷待ち・荷下ろしをしている中で適正ではないという認識はある。

- ・トラック運転者は荷役作業を無償でさせられている。荷役作業時の事故責任をトラック事業者が取らされた。
- ・契約を切られることを恐れ、なかなか荷主に相談できない。
- ・新規ドライバーが集まらず、既存ドライバーの負担増となり、必然的に長時間労働を強いられている。
- ・発荷主と着荷主の連携のまずさが、手待ち時間発生要因。



トラック事業者

▲地方協議会で集められた荷主・トラック事業者の主な意見から抜粋

道府県でも実現していきたいと思っています。昨今のトラック運送業界における、深刻な人手不足や労働環境、コスト競争の弊害など様々な問題の改善を目指し、より健全かつサステナブルな業種であるよう業界全体で取り組むことが大切。これから4年にわたる、長く険しい道のりですが、皆様のご協力を仰ぎながら強力に推進してまいります。

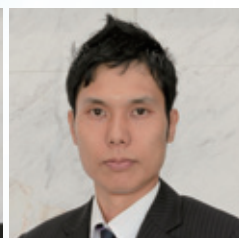
# 創業108年の老舗企業が目指す 輸送品質と信頼性向上の“切り札”

## 大成運送株式会社 様

- 所在地：愛知県名古屋南区豊田五丁目17番13号
- 事業内容：一般貨物自動車運送事業
- 設立：1907年4月
- SR導入：SRVideo 10台、SRVDigitacho 10台
- 代表者：代表取締役社長 安田 路信



営業部部長  
近藤 誠宏 様



安全対策課係長  
松本 章義 様

### 導入時に発生 of 紆余曲折を経て 創意工夫によってSR効果を出す

当社では、以前より「安全への心配り」として、安全衛生委員会を中心に6つの社内制度や活動を実施。これらを通じて、社員の安全と環境、輸送品質の意識向上を目指しています。「**ドライバーは会社の看板であり、財産である**」を旨とし、管理者とドライバーがともに育ち、お客様に品質の高い輸送サービスをご提供しながら、良好な関係性を保つことを心がけています。

2008年、特定の車両に固定せず、持ち回りできるかたちで『SRVideo』10台の運用を開始。ところが、「付け替えの手間による搭載の滞り」や「SR担当管理者不在による指導の停滞」などの問題により、いったん運用が停止状態となりました。そこで、新たに地元の電装業者と付け替えに係る業務委託契約を結び、車両100台へのローテーション運用を再開。さらにSR担当管理者を設置し、「SRお助けセミナー」へも参加して、本格運用となりました。

SR運用にあたり要注意ドライバーのデータを抽出し、優先的に個人指導を行うため、SRの運転診断結果にレーダーチャートとして表示される**運転操作の5項目に絞り、1年間にわたり集計・指導**することにしました。車両タイプ別に要注意ドライバーと最優良ドライバーのSR得点を、同じレーダーチャート上に重ね合わせることで問題点が一目瞭然となり、指導ポイントが明確化しました。管理者は、データ・テック作成のSR指導手引書「運転診断の解説」を活用し、SRデータに基づく個人指導を実施。さらに**ドライバー別に月・年の燃費集計表や、曜日と時間帯別の事故発生率を集計**することで、始業・終業、休憩の前後、休祭日前後など具体的な傾向を把握できました。またSR運用にはドライバー教育とともに、管理者との相互理解と協力の大切さに気づき、「大成運送版SRNEWS」も発行しています。

### SR導入をきっかけとしながら 難関ISO39001の取得を目指す

2013年2月に凍結路面の山中で事故が発生。車両に搭載した『SRVideo』の記録画像によって当社の主張が理解されるも、荷主様や関係各所にご迷惑をかけることとなりました。この事故を機に、運行管理の強化と社員の安全意識の高揚、お客様への信頼回復への一助として『SRV Digitacho』を10台(常時搭載)追加導入しました。

事故の半数は、交差点内で発生します。「デジタコでは走り方を見る」「ドラレコでは停まり方を見る」という通説があり、「停車時の車間距離は走行時の車間距離に比例」とも言われます。**SRはジャイロにより交差点内の低速状態の走行状況や挙動の把握ができ、ドラレコとデジタコ双方の情報を把握可能なので、安全運転指導に大いに貢献できると確信しています。**

現在、社内ではISO39001認証取得に取り組んでおり、同認証を取得済のデータ・テックからの情報も参考にしつつ、全社一丸で交通安全活動や体制づくりに励んでいます。

### 事故件数**45%減**、燃費**アップ**累計**7%**を達成

※2008年のSR導入から2014年までの累計値

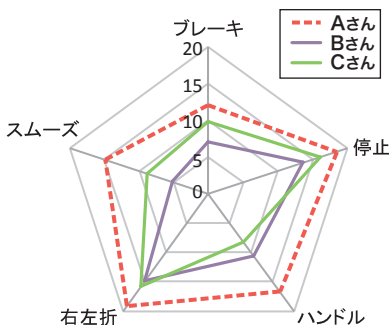
### 事故の傾向がつかめ、指導が**より実践的**に

※曜日や時間帯別の事故発生状況の把握により、実践的な運転指導が可能になった



▲ マネジメントシステムから研修、表彰、提案制度、講習会、健康管理まで、6つの社内制度や活動が充実。ドライバーや社員育成の中核となるのが、安全衛生委員会である

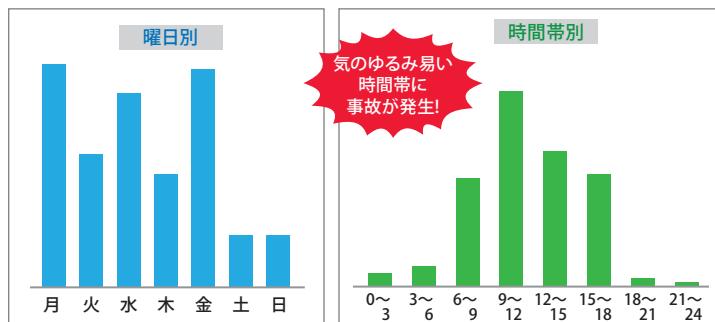
### 高得点者との比較グラフ



▲ 「ブレーキ」「停止」「ハンドル」「右左折」「スムーズ」の5項目におけるSR得点結果を、要注意者B、Cと最優秀者Aをチャートで比較する



▲ 大成運送版SRNEWS。手作りながら、真摯さがにじみ出ている力作だ



▲ ドライバーの気がゆるみやすいタイミング(週末や週明け、始業・終業時)に事故が多く発生。朝礼や講習会などで、データを元に重点的な指導や教育を行う



## 第4回 SRグランプリ結果発表と表彰式



# 遂にモンリクが殿堂入り!!

SR得点を全国規模で企業とドライバーが競い合う「SRグランプリ」。第4回の本グランプリでは2014年7月1日～2015年6月30日までにドライバー287名が参加し、厳正なる審査の結果、各賞が決定。また第1回から3回目の結果により、株式会社モンリク様が「初代殿堂入り企業」となった。



▲ 団体賞や個人賞、特別賞を含む7つの賞を獲得した株式会社明送様の賞状授与の様子



▲ 受賞コメントをいただいた各企業の代表者様

各賞受賞企業様の声

- 団体賞 乗用車部門2位、個人賞 乗用車部門1位、同2位、同4位、特別賞 乗用車部門1位  
**阪神ロジサポート株式会社様** 「安全運転の意識を深めるため、7年にわたりSRを使い続けました。全従業員への安全運転の意識付けも浸透したのが結果に結び付いたと思います」
- 団体賞 小型トラック部門1位、同中型トラック部門1位、個人賞トラック部門3位、同4位、特別賞 小型トラック部門1位、同3位、同中型トラック部門2位  
**越野運送株式会社様** 「一度にたくさんの受賞をいただき、とても感謝しています。今後も点数向上とともに、安全運転指導を推進していきます」
- 団体賞 小型トラック部門 2位、同中型トラック部門 3位、個人賞小型トラック部門5位  
**関東通信輸送株式会社様** 「これからも、SRを大いに活用してドライバーの安全指導を徹底したいです」
- 団体賞 大型トラック部門1位、個人賞 中型トラック部門 3位、同5位、同大型トラック部門1位、同4位(2名)、特別賞 中型トラック部門3位  
**株式会社明送様** 「会社や従業員とともに1年を通してグランプリ上位を目指して安全運転を行うことは、非常に良いこと。もっと多くの企業やドライバーに参加してほしいです」

### 団体賞 乗用車部門

第1位	株式会社ガスエネルギー大分 庄野班	86.46点
第2位	阪神ロジサポート株式会社	85.93点
第3位	株式会社ガスエネルギー大分 間藤班	83.78点

### 団体賞 小型トラック部門

第1位	越野運送株式会社 滋賀営業所	97.40点
第2位	関東通信輸送株式会社	96.97点
第3位	桜物流株式会社	91.51点

### 個人賞

各個人賞と特別賞(乗用車・小型・中型・大型トラック部門)は弊社サイトをご参照ください。 <http://www.datatec.co.jp>

### 団体賞 中型トラック部門

第1位	越野運送株式会社 滋賀営業所	96.17点
第2位	株式会社明送 東北営業所	95.14点
第3位	関東通信輸送株式会社	92.11点

### 団体賞 大型トラック部門

第1位	株式会社明送 東北営業所	98.78点
第2位	東電物流株式会社 群馬支社 上尾事業所	98.65点
第3位	東電物流株式会社 中央支社 横浜事業所	98.52点

## 第5回 SRグランプリのエントリー企業を大募集!!

### TOPICS データ・テックから新製品情報!!

### 管理者や経営者に朗報!!

## SRのクラウド対応が実現!! 勤務時間管理ソフトも発表

『SR-WEB解析システム』は、WebブラウザでSRの「運行管理」を閲覧できるクラウド型システムだ。

車両からサーバに常時アップされるSRの運行データを、SR-WEB解析システムによってリアルタイムに表示・確認できる。

運行管理として「安全運転管理」「乗務日報」「現在位置表示」「位置履歴表示」を用意。「運行内容確認画面」では、各ドライバーが走行した1日のSRデータを一覧表示できるほか、SR得点や運転診断結果、5つの診断項目の詳細確認、走行軌跡なども表示可能。管理者による日常的な点呼時の運転指導や、車両のリアルタイム動態確認に大いに活用できる。

『勤務時間管理ソフト』は、グローアップ社会保険労務士法人監修の元に開発された勤怠時間管理ソフト。SRデータからドライバーごとの拘束時間や休息期間、運転時間などを自動計算し、厚生労働省の「改善基準告示」に照らした労働時間を正確かつ詳細に記録・管理できるものだ。出力帳票機能としては、1日ごとの「始業・終業時間」「拘束・休息時間」「運転・休憩時間」などを計算し、限度超えの箇所を強調色表示できる。

お問い合わせ先: TEL 03-5703-7060(営業本部)

データ・テックは、WebブラウザでSRデータを解析するクラウド型SR解析システム『SR-WEB解析システム』と、労働基準告示準拠の『勤務時間管理ソフト』を発表した。



SR-WEB解析システム

▲ 『SR-WEB解析システム』の「安全運転管理」画面(上)。「走行軌跡確認」画面は、Google Map上に車両の走行軌跡が表示される(中)

勤務時間管理ソフト

◀ 『勤務時間管理ソフト』の出力帳票。拘束時間や最大連続時間などで限度超えが発生している部分を、赤や黄色で強調表示可能だ



# 人材採用と定着化、マイナンバー制など 運送・物流のホットな話題を真剣討議

## 1. SRの疑問・質問・新機能提案

- SRを導入して燃費が確実に向上。具体的に2トン保冷車で約9km/ℓ、大型トラックで約4km/ℓを記録した。
- SR導入後、車間距離を十分に取ると、制動操作やアクセル開閉が穏やかになり、安全や燃費効果が高まった。また車両メンテナンス費（修理・維持を含む）も下がった。
- SRをメンテナンス費の指標として使える機能がほしい。
- 危険挙動が発生した時、リアルタイムにドライバーや管理者に知らせる通知機能がほしい。

## 2. マンネリを打開したい

- 社内コミュニケーションが取れている会社は事故が少ない。
- わずかな時間でも管理者、上司からの直接の声掛けが有効。社内SR得点ランキングの掲出や得点コンテストを実施。
- チーム制を導入し、ドライバーや社員間での自発的な安全意識やプロ意識を育む。
- 自己成長記録ノートや、それに対する社長からのコメント記入により、安全運転への自覚と責任感を促す。

## 3. 費用対効果を出す

- 費用対効果向上には、「事故削減」と「時間」の使い方が鍵。
- 業務の見直しを行い、本当に必要なことに時間を使う。
- ドライバーだけではなく、会社全体でのプロ意識の確立。
- 事故を起こしやすい要注意人物を確実に見つけ、個別指導を行う。事故への認識の違いをなくすため個人面談等も有効。
- 指導の際、言葉によるコミュニケーション力の重要性。



分科会の様子。意見交換やグループ発表などで大いに盛り上がった

## 4. フォークリフトの「見える化」

- フォークリフトによる人身や破損事故が多発傾向にある。
- 荷役や貨物作業の事故削減にSRフォークリフトは有効。
- SRフォークリフトの価格や、設置の持ち回り使用での利便性などいくつか改善を望む。
- SRフォークリフト導入により荷物の弁済金が減り、元がとれた（1年間無事故となった）。

## 5. マイナンバー制度や労務時間管理について

- 中小の運送会社には法の施行後の即時対応は正直難しい。
- 実態を把握して所定労働時間を決めるところから始める。
- 運送業界を改善するには、抜本的改革が必要。例えば、高速料金や最長連続運転時間の見直し、荷主の理解など。

## 6. 人材採用と定着化

- 地方は特に人材不足が深刻化。「戻り社員」も、やる気があれば積極的に採用すべき。
- 人材採用と定着化には、安定雇用を打ち出すことが大切。
- 固定給の割合を増やす運送会社が増えている。
- 若者の正社員志向が増加。若手の人材募集のためPC、スマホ対応サイトや、学校へのニュースレターなどで情報を配信。
- 社員の家族、近親者向けに「安定・安全・安心」の情報発信や制度・ルール作りが、人材採用や定着化には重要。



## Event Information

全国主要都市で随時開催  
**各種セミナー**

データ・テックは、運送会社の経営者様や、現場管理者様を対象とした各種物流セミナーや、既存のSRユーザーのために各社の導入事例をご紹介したり、SR運用での疑問解決の場として「SRお助けセミナー」を開催中です。詳細については、弊社企業サイトをご参照。 [URL: www.datatec.co.jp](http://www.datatec.co.jp)

## 第22回 SRお客様交流会

● 2016年2月26日（金） ● 東京・大田区産業プラザPiO

22回目の本交流会は、SR導入事例や、気になる第5回SRグランプリの途中経過発表、新製品デモ、物流セミナーなどを予定しています。SRユーザーはもちろん、これから導入を考えている、お客様も奮ってご参加ください。